

東洋炭素株式会社

2022年12月期 決算説明資料

2023年2月20日

東洋炭素株式会社

2022年12月期 決算概要

1. 2022年12月期業績

	FY21	FY22			
	(A)	(A)	(F) *	前期比	予想比
(単位：百万円)					
売上高	37,734	43,774	43,000	+ 6,039 / + 16.0 %	+ 774 / + 1.8 %
営業利益	5,666	6,667	7,300	+ 1,001 / + 17.7 %	▲ 632 / ▲ 8.7 %
(売上高営業利益率)	15.0%	15.2%	17.0%		
経常利益	6,264	7,369	7,600	+ 1,104 / + 17.6 %	▲ 230 / ▲ 3.0 %
(売上高経常利益率)	16.6%	16.8%	17.7%		
親会社株主に 帰属する 当期純利益	4,465	5,181	5,300	+ 715 / + 16.0 %	▲ 118 / ▲ 2.2 %
1株当たり 当期純利益	212円94銭	247円08銭	252円71銭		
ROE	6.4%	6.9%	7.0%		
為替レート	109.8円/\$ 129.9円/€ 17.0円/人民元	131.5円/\$ 138.1円/€ 19.5円/人民元	128円/\$ 133円/€ 19円/人民元		

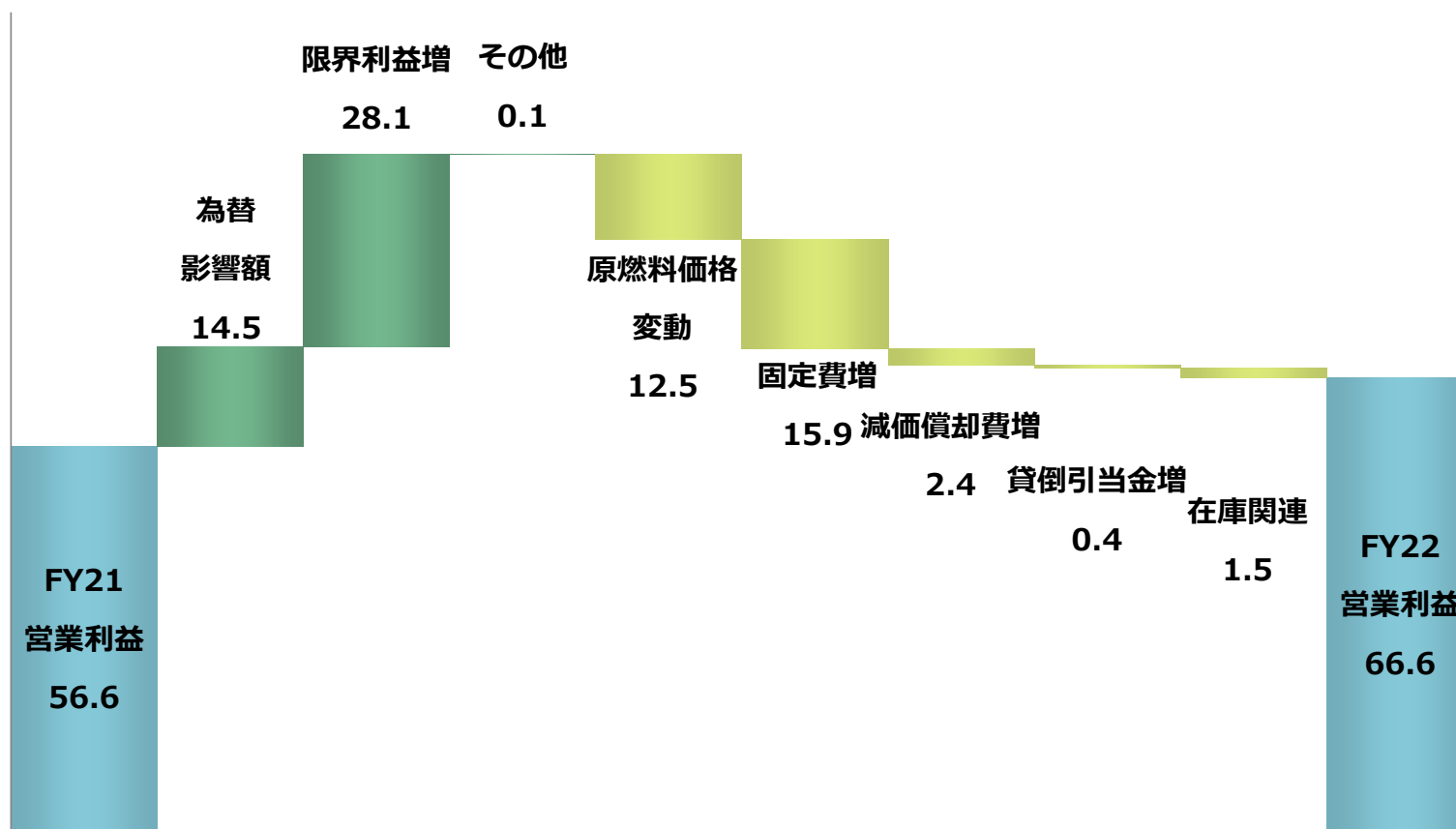
* 2022年8月9日公表

2. 営業利益増減要因

(2021年12月期実績 vs 2022年12月期実績)

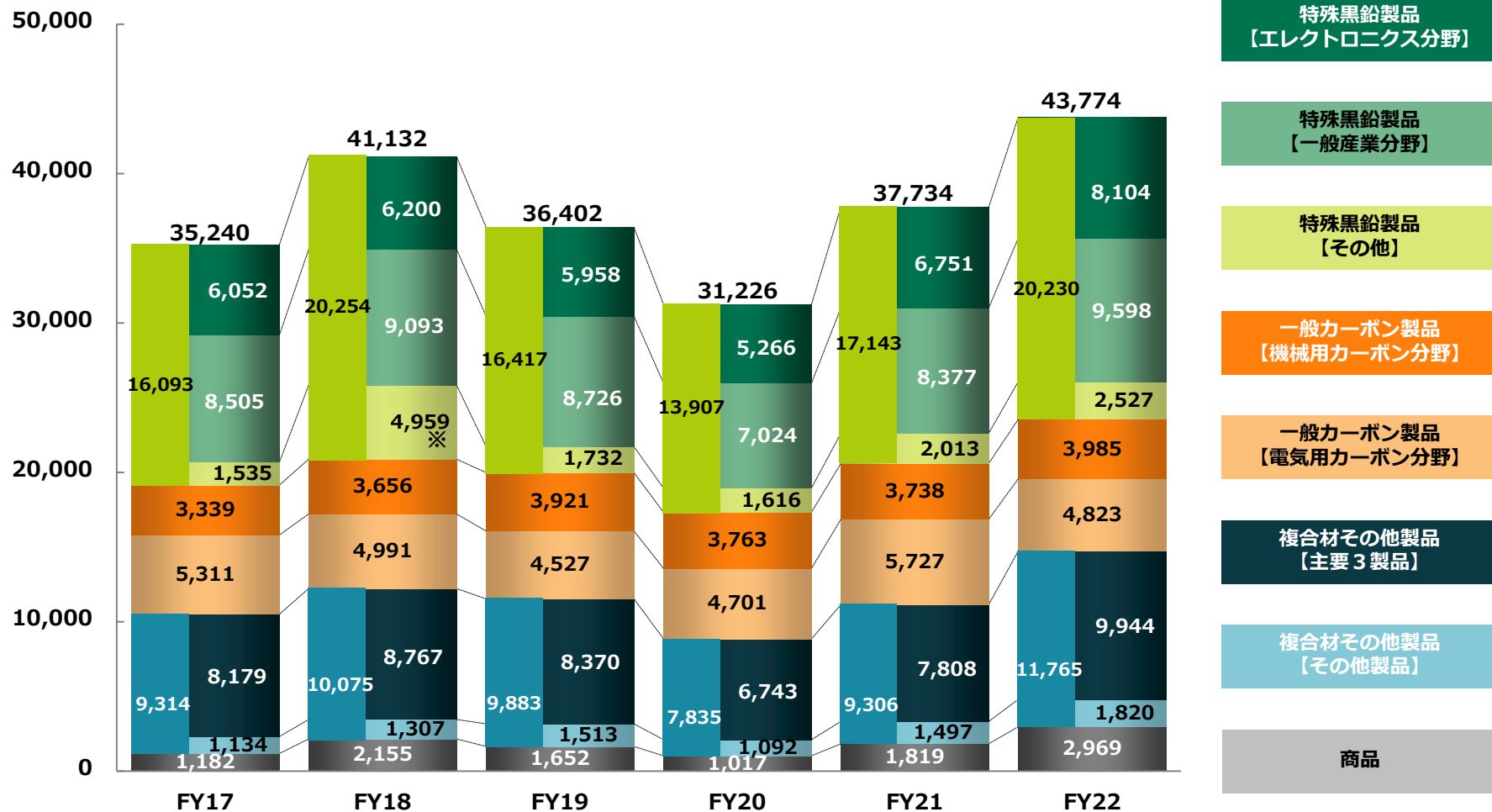
- ✓ 限界利益増（数量・製品MIX・価格転嫁）と円安効果が、原燃料価格・固定費（人件費）の大幅増や、在庫未実現利益計上による想定外の押し下げをこなし前期比+17.7%増

(単位：億円)



3. 製品・分野別売上高

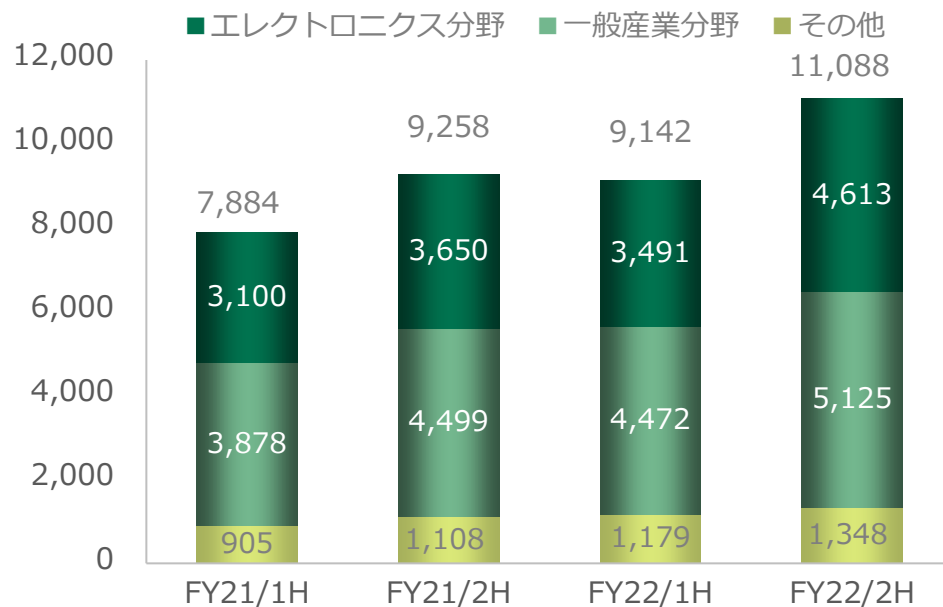
(単位：百万円)



※ FY18の特殊黒鉛製品 その他の売上高には、中国高温ガス炉（HTR-PM）向けの売上高3,204百万円が含まれております。

3. 製品・分野別売上高 特殊黒鉛製品

(単位：百万円)



【エレクトロニクス分野】

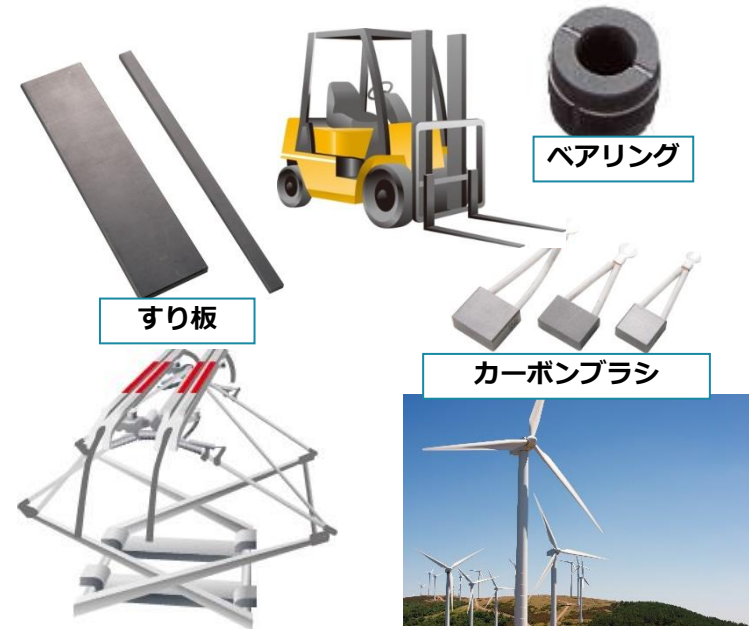
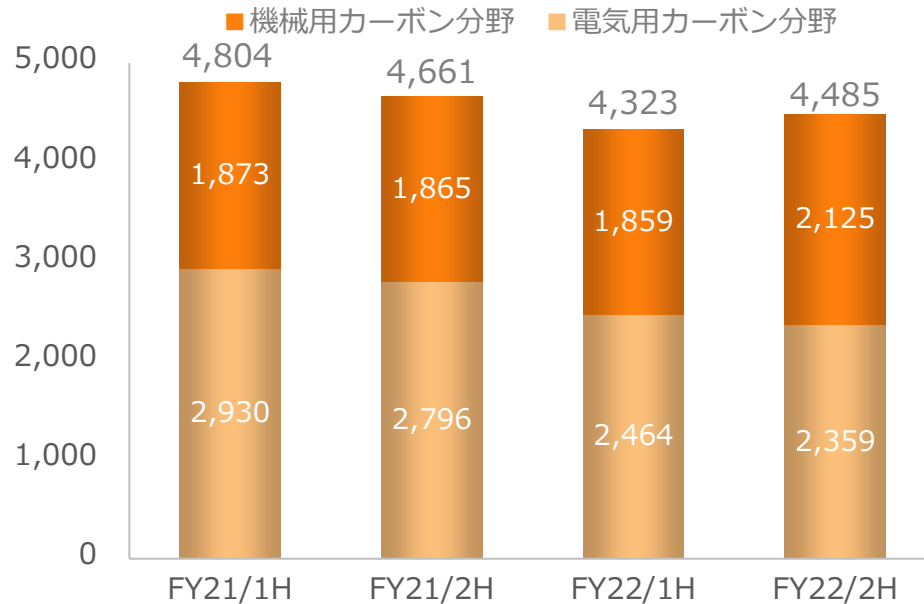
単結晶シリコン製造用・化合物半導体製造用ともに下期一段の需要増で、両用途とも昨年の過去最高売上を更新。太陽電池製造用は、量は追わず付加価値品販売に注力し、一定の成果を上げる。

【一般産業分野】

自動車関連産業は稼働回復に時間を要しているものの、半導体産業の高稼働や設備投資の持ち直し等を背景に連続製造用や工業炉用の需要が前期比大幅増。放電加工電極も堅調。

3. 製品・分野別売上高 一般カーボン製品

(単位：百万円)



【機械用カーボン分野】

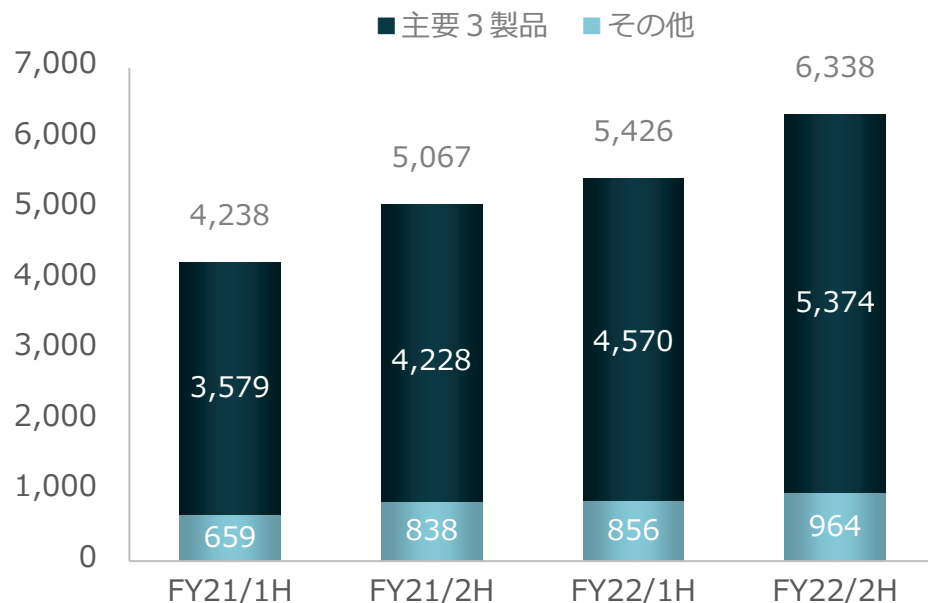
軸受・シールリング等は、国内外とも堅調で前期より増加。パンタグラフ用すり板も底堅い需要が継続。

【電気用カーボン分野】

巣ごもり需要剥落・欧州の景気停滞による需要減速等により、家電・電動工具向け小型モーター用の需要は過去最高を記録した前期より減速。

3. 製品・分野別売上高 複合材その他製品

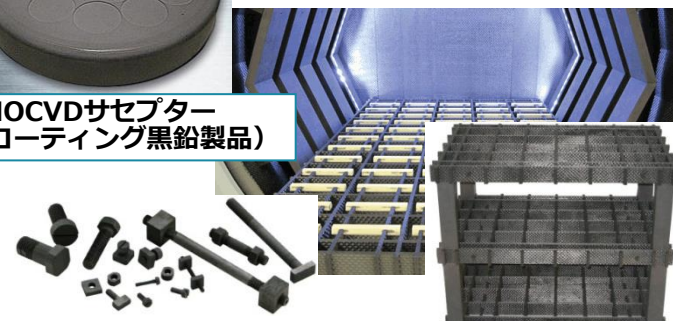
(単位：百万円)



MOCVDサセプター
(SiCコーティング黒鉛製品)



黒鉛シート製品



三段トレイ
(C/Cコンポジット製品)



ボルト・ナット
(C/Cコンポジット製品)

【主要3製品】

SiCコーティング黒鉛製品は、シリコン/SiCエピ用途が前期を大幅に上回る好調な着地。特にSiC半導体用は大きく伸長。LED用は主力の中国はじめアジア市場が調整局面に。

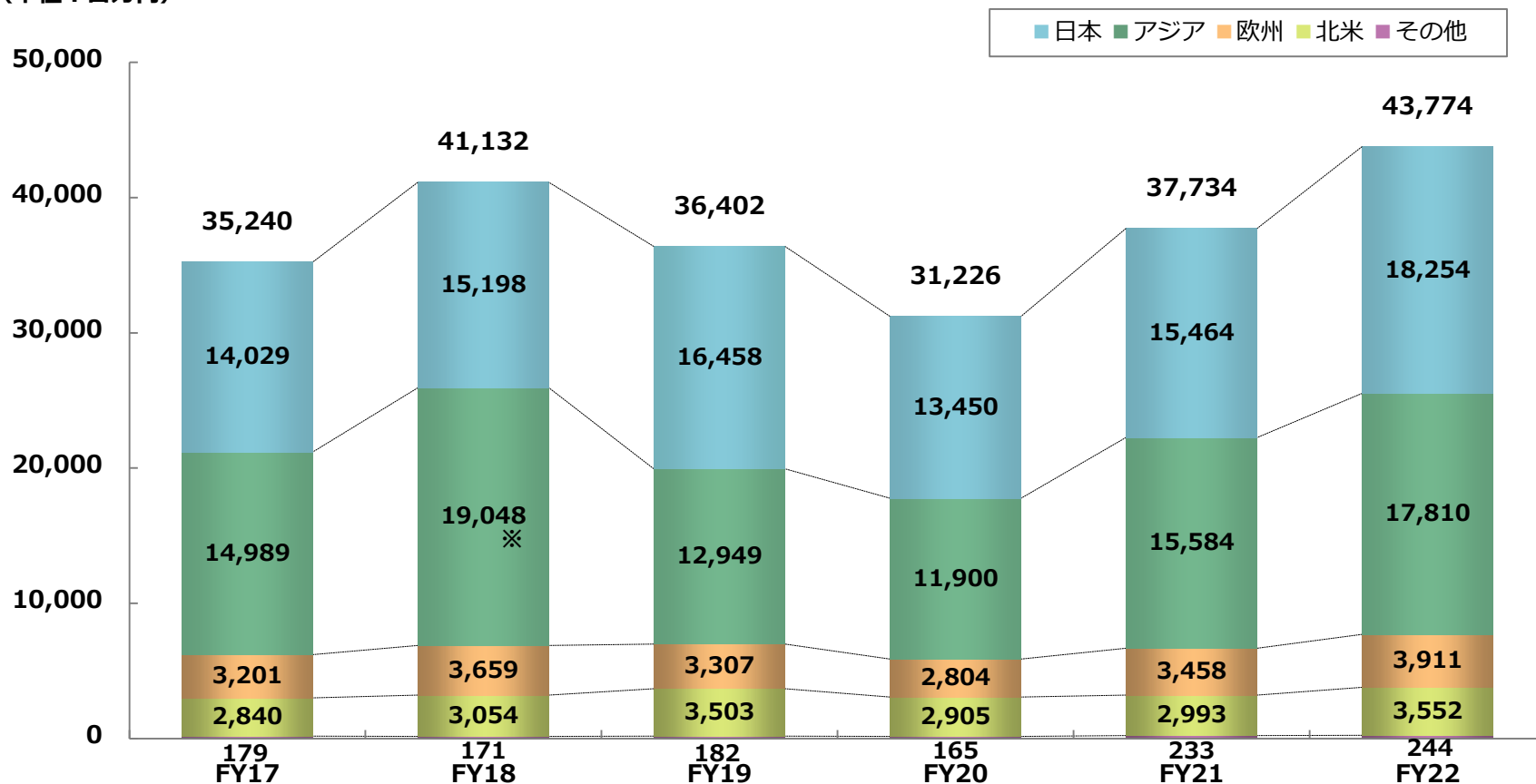
C/Cコンポジット製品は、工業炉用は販促効果により、半導体用は市場の強い需要を背景に、ともに前期比大幅増。太陽電池用のボリュームは両用途に及ばずながら、PECVD用部材の需要堅調で前期比増。

黒鉛シート製品は、自動車用途は低迷も、半導体・冶金用途の需要堅調で、前期比増。

4. 地域別売上高

✓中国はゼロコロナ政策の影響あるもプラスで着地 その他各地域とも着実に成長

(単位：百万円)



※ FY18のアジアの売上高には、中国高温ガス炉（HTR-PM）向けの売上高3,204百万円が含まれております。

5. 2022年12月期

連結貸借対照表および連結キャッシュ・フロー計算書

連結貸借対照表	(単位：百万円)	
	21/12月末	22/12月末
資産合計	83,655	89,432
受取手形及び売掛金	14,198	16,606
たな卸資産	16,023	18,416
有形固定資産	31,046	31,138
負債・純資産合計	83,655	89,432
有利子負債	199	285
資本金	7,947	7,947
純資産	72,256	77,200
自己資本比率	86.3%	86.3%

連結キャッシュ・フロー 計算書	(単位：百万円)	
	21/12月期	22/12月期
現金及び現金同等物の期首残高	12,093	12,470
現金及び現金同等物の増減額	376	▲ 696
現金及び現金同等物の期末残高	12,470	11,773
営業活動によるCF	7,328	5,625
投資活動によるCF	▲ 6,252	▲ 5,253
財務活動によるCF	▲ 1,261	▲ 1,388

2023年12月期業績予想

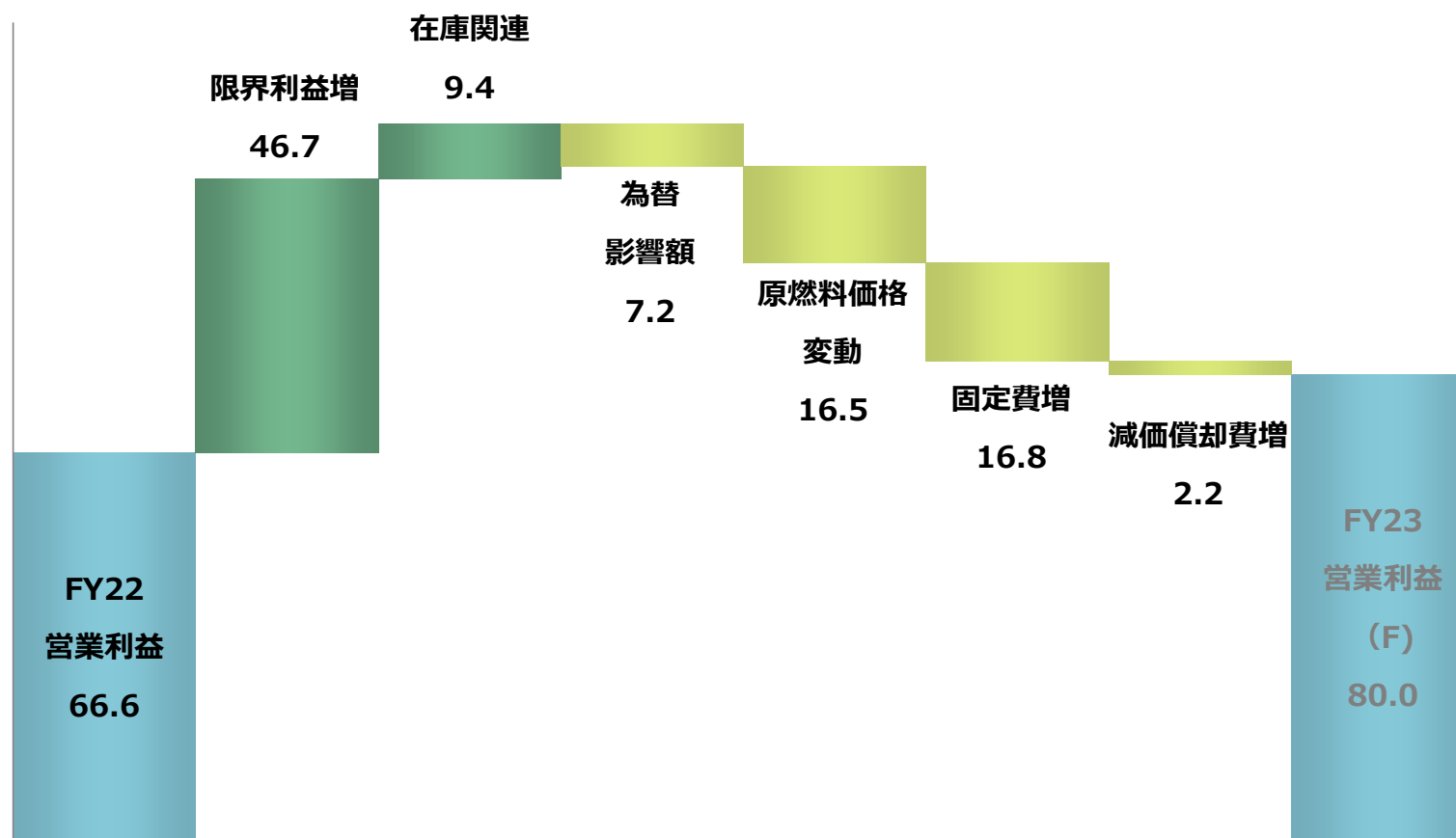
1. 2023年12月期業績予想

(単位：百万円)	FY22			FY23 (F)			
		内訳			内訳		前期比
売上高		43,774	1H		20,293	47,000	
	2H		23,481	2H	24,000		
営業利益	6,667	1H	3,039	8,000	1H	3,800	+ 1,332 / + 20.0 %
		2H	3,628		2H	4,200	
(売上高営業利益率)	15.2%			17.0%			
経常利益	7,369	1H	3,705	8,000	1H	3,800	+ 630 / + 8.6 %
		2H	3,664		2H	4,200	
(売上高経常利益率)	16.8%			17.0%			
親会社株主に 帰属する 当期純利益	5,181	1H	2,564	5,500	1H	2,600	+ 318 / + 6.1 %
		2H	2,617		2H	2,900	
1株当たり 当期純利益	247円08銭	1H	122円29銭	262円25銭	1H	123円97銭	
		2H	124円79銭		2H	138円28銭	
ROE	6.9%			6.9%			
為替レート	131.5円/\$ 138.1円/€ 19.5円/人民元			124円/\$ 136円/€ 18円/人民元			

2. 営業利益増減要因 (2022年12月期 vs 2023年12月期)

- ✓ 円高影響や原燃料高、固定費（主に人件費）・減価償却費等の増加影響あるも
限界利益増（数量・価格転嫁・製品MIX）で+20.0%の増益
前期は利益を押し下げた在庫未実現利益は、今期は増益サイドに

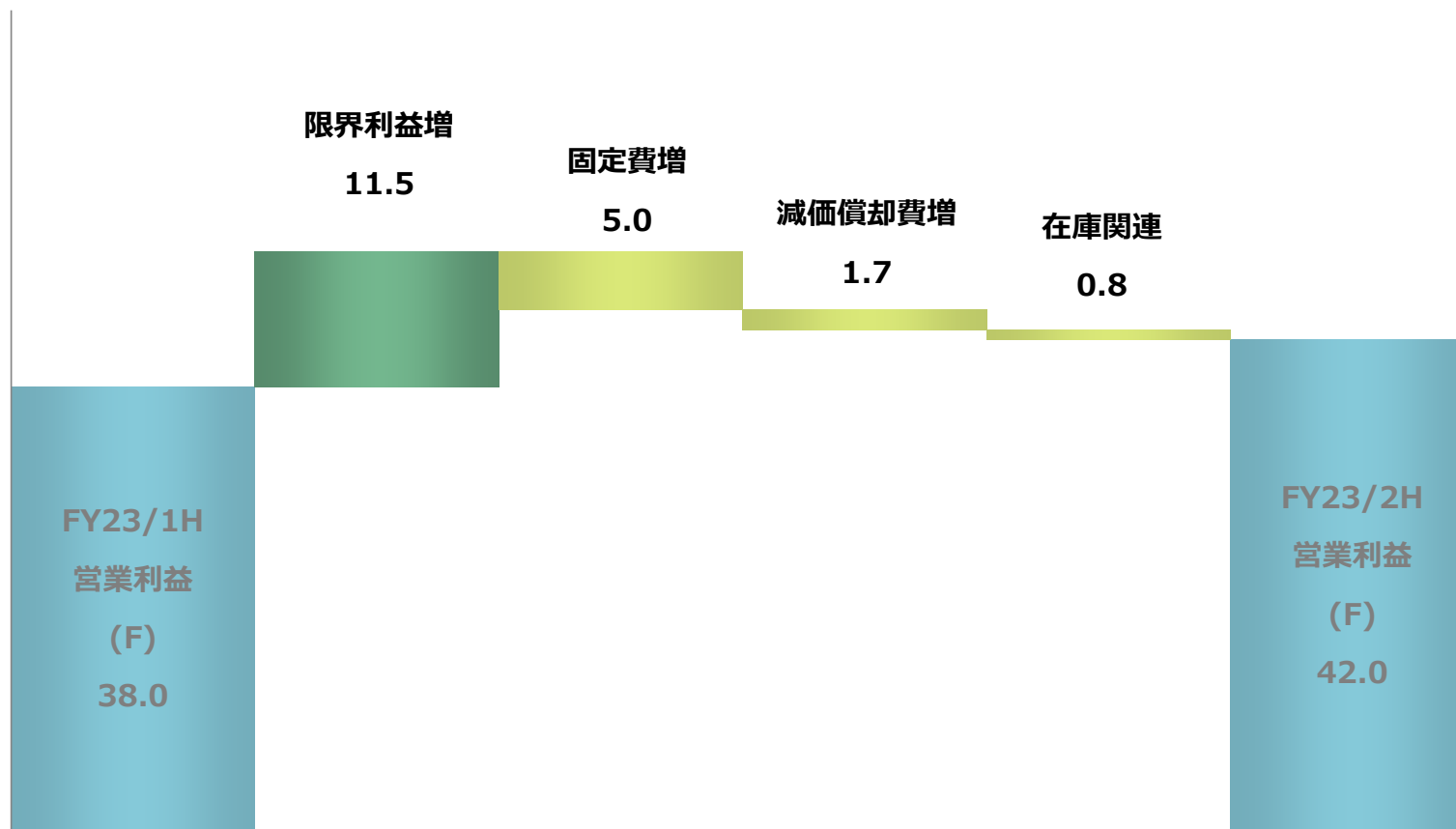
(単位：億円)



2. 営業利益増減要因 (2023年12月期上期 vs 下期)

✓ 価格転嫁・製品MIXの影響による限界利益増で下期の利益水準上昇

(単位：億円)



3. 製品・分野別売上高

製品・分野別	FY22			FY23(F)					
	1H	2H	通期	1H	増減 (%)	2H	増減 (%)	通期	増減 (%)
特殊黒鉛製品	9,142	11,088	20,230	10,662	+16.6%	11,386	+2.7%	22,048	+9.0%
エレクトロニクス分野	3,491	4,613	8,104	4,599	+31.8%	5,075	+10.0%	9,675	+19.4%
一般産業分野	4,472	5,125	9,598	4,879	+9.1%	5,088	▲0.7%	9,968	+3.9%
その他	1,179	1,348	2,527	1,182	+0.3%	1,222	▲9.4%	2,404	▲4.9%
一般カーボン製品（機械用）	1,859	2,125	3,985	2,078	+11.8%	2,134	+0.4%	4,213	+5.7%
一般カーボン製品（電気用）	2,464	2,359	4,823	2,426	▲1.5%	2,578	+9.3%	5,005	+3.8%
複合材その他製品	5,426	6,338	11,765	6,345	+16.9%	7,110	+12.2%	13,455	+14.4%
主要3製品	4,570	5,374	9,944	5,532	+21.1%	6,172	+14.8%	11,705	+17.7%
その他	856	964	1,820	812	▲5.1%	937	▲2.7%	1,750	▲3.9%
商品	1,400	1,568	2,969	1,486	+6.1%	790	▲49.6%	2,276	▲23.3%
合計	20,293	23,481	43,774	23,000	+13.3%	24,000	+2.2%	47,000	+7.4%

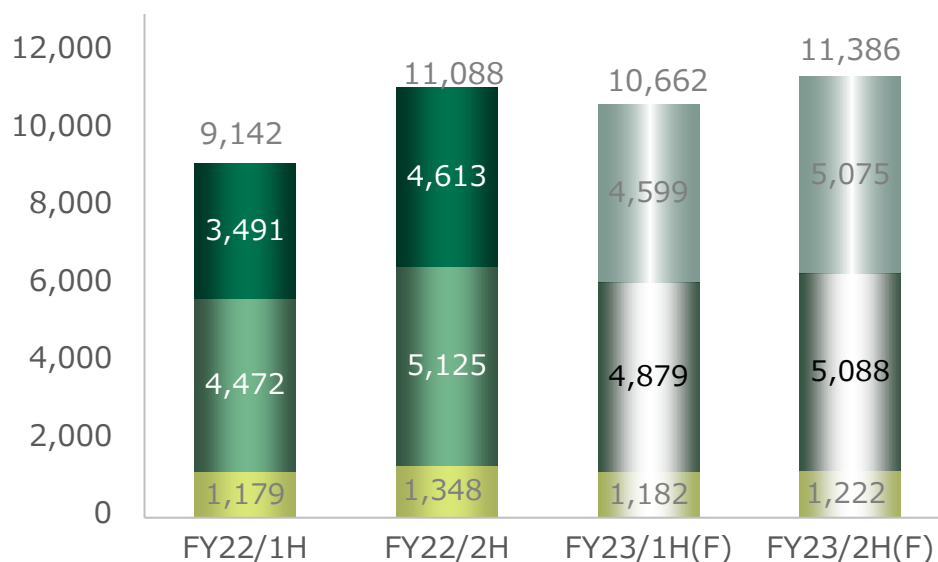
3. 製品・分野別売上高 特殊黒鉛製品

製品・分野別	FY22			FY23(F)					
	1H	2H	通期	1H	増減(%)	2H	増減(%)	通期	増減(%)
特殊黒鉛製品	9,142	11,088	20,230	10,662	+16.6%	11,386	+2.7%	22,048	+9.0%
エレクトロニクス分野	3,491	4,613	8,104	4,599	+31.8%	5,075	+10.0%	9,675	+19.4%
一般産業分野	4,472	5,125	9,598	4,879	+9.1%	5,088	▲0.7%	9,968	+3.9%
その他	1,179	1,348	2,527	1,182	+0.3%	1,222	▲9.4%	2,404	▲4.9%

増減は前年同期比

(単位：百万円)

■ エレクトロニクス分野 ■ 一般産業分野 ■ その他



【エレクトロニクス分野】

・単結晶シリコン製造用・化合物半導体製造用ともに強い需要が継続。高付加価値用途を優先し、太陽電池製造用は一段の絞り込み。

【一般産業分野】

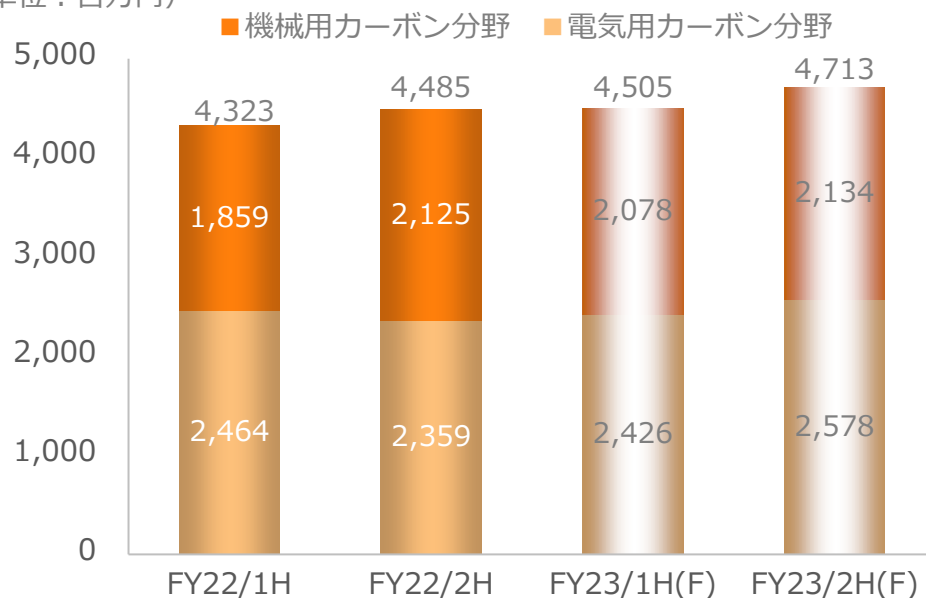
・工業炉・連続鋳造用などの冶金用は前期+aの増加、放電加工電極も堅調。

3. 製品・分野別売上高 一般カーボン製品

製品・分野別	FY22			FY23(F)					
	1H	2H	通期	1H	増減(%)	2H	増減(%)	通期	増減(%)
一般カーボン製品（機械用）	1,859	2,125	3,985	2,078	+11.8%	2,134	+0.4%	4,213	+5.7%
一般カーボン製品（電気用）	2,464	2,359	4,823	2,426	▲1.5%	2,578	+9.3%	5,005	+3.8%

増減は前年同期比

(単位：百万円)



【機械用カーボン分野】

- ・ 軸受・シールリング等は、多少の上下あるも前期下期並みの水準で安定的に推移。
- ・ パンタグラフ用すり板も安定的な需要を見込む。

【電気用カーボン分野】

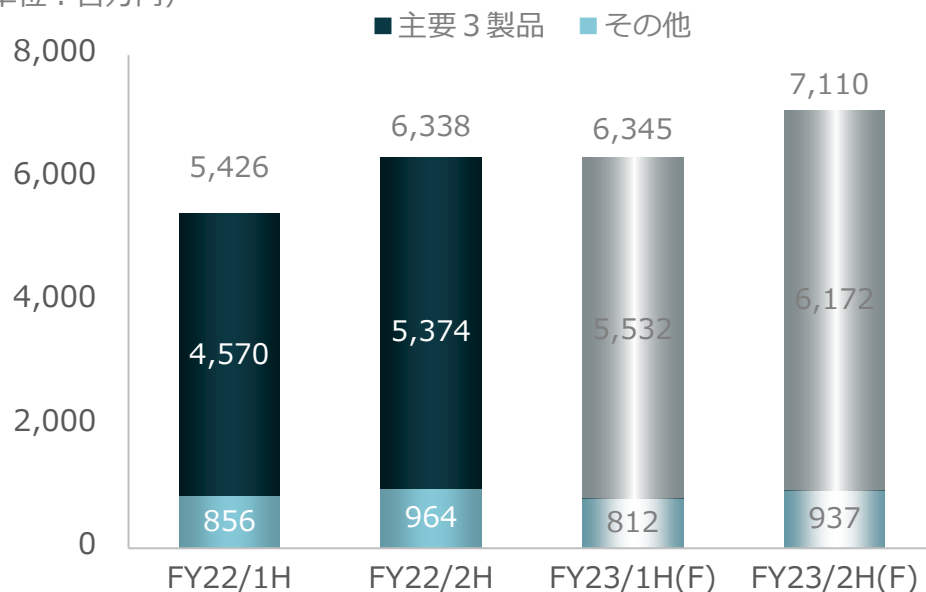
- ・ 家電・電動工具向け小型モーター用は、少なくとも上期は調整継続、下期以降徐々に回復の見込み。
- ・ 産業機械向けの大型モーター用は、依然ボリューム小さいものの用途開拓は着実に進展。継続して取り組みを進める。

3. 製品・分野別売上高 複合材その他製品

製品・分野別	FY22			FY23(F)					
	1H	2H	通期	1H	増減(%)	2H	増減(%)	通期	増減(%)
複合材その他製品	5,426	6,338	11,765	6,345	+16.9%	7,110	+12.2%	13,455	+14.4%
主要3製品	4,570	5,374	9,944	5,532	+21.1%	6,172	+14.8%	11,705	+17.7%
その他	856	964	1,820	812	▲5.1%	937	▲2.7%	1,750	▲3.9%

増減は前年同期比

(単位：百万円)



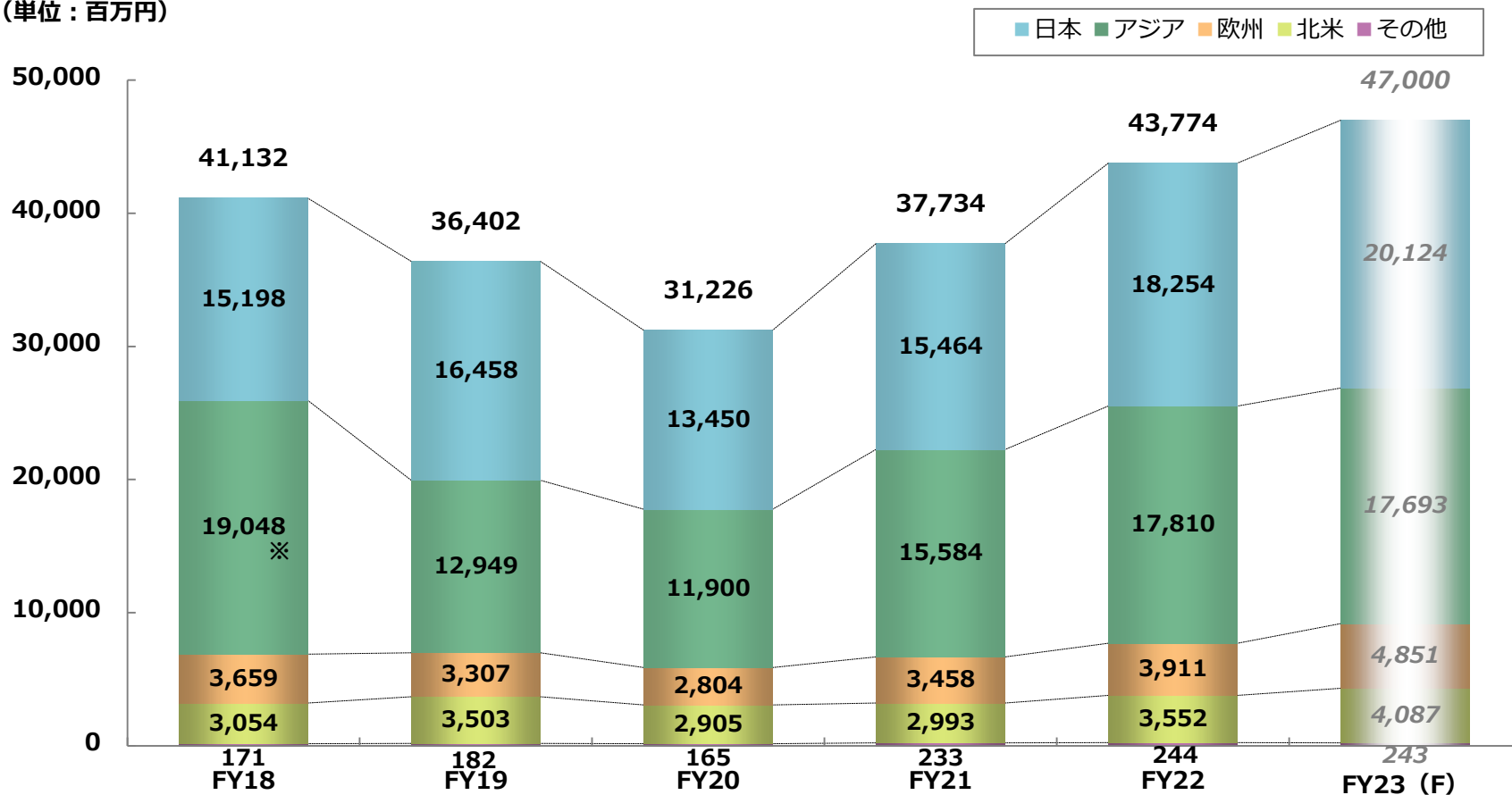
【主要3製品】

- ・ SiCコーティング黒鉛製品はシリコン/SiCエピ用途の需要が引き続き強く、実行中の増設投資の一部先行稼働で、高水準の需要に対応。LED向けの回復は下期以降の見込み。
- ・ C/Cコンポジット製品は工業炉用・半導体用・太陽電池用ともに前期並みと好調維持。
- ・ 黒鉛シート製品は、自動車用は低迷続くも、半導体用・冶金用はともに前期並みの堅調さを維持。

4. 地域別売上高

✓ グループ内でキャパシティの最適化を図り、各地域の高水準な需要に対応

(単位：百万円)



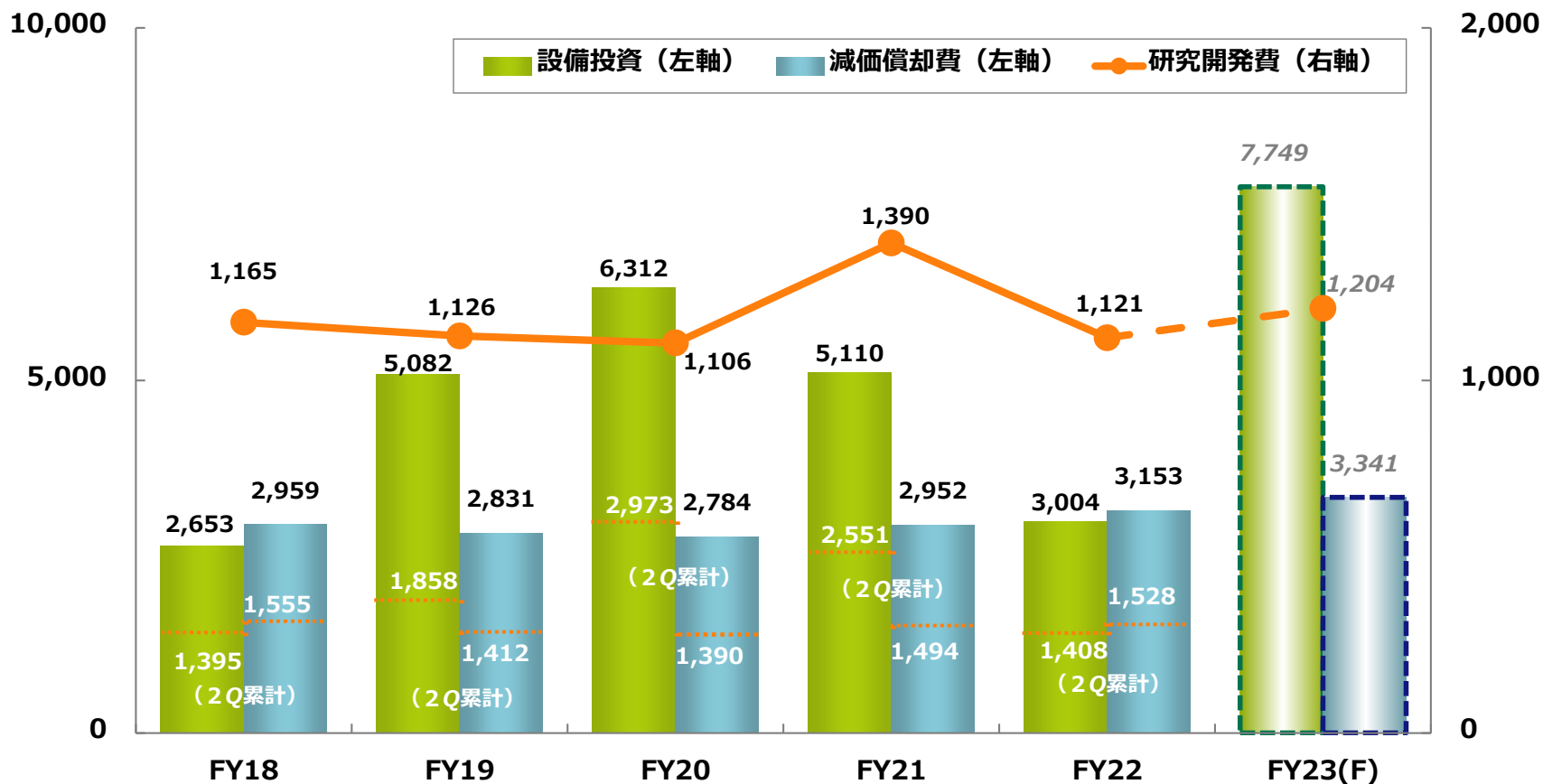
* FY18のアジアの売上高には、中国高温ガス炉（HTR-PM）向けの売上高3,204百万円が含まれております。

5. 設備投資・減価償却費・研究開発費

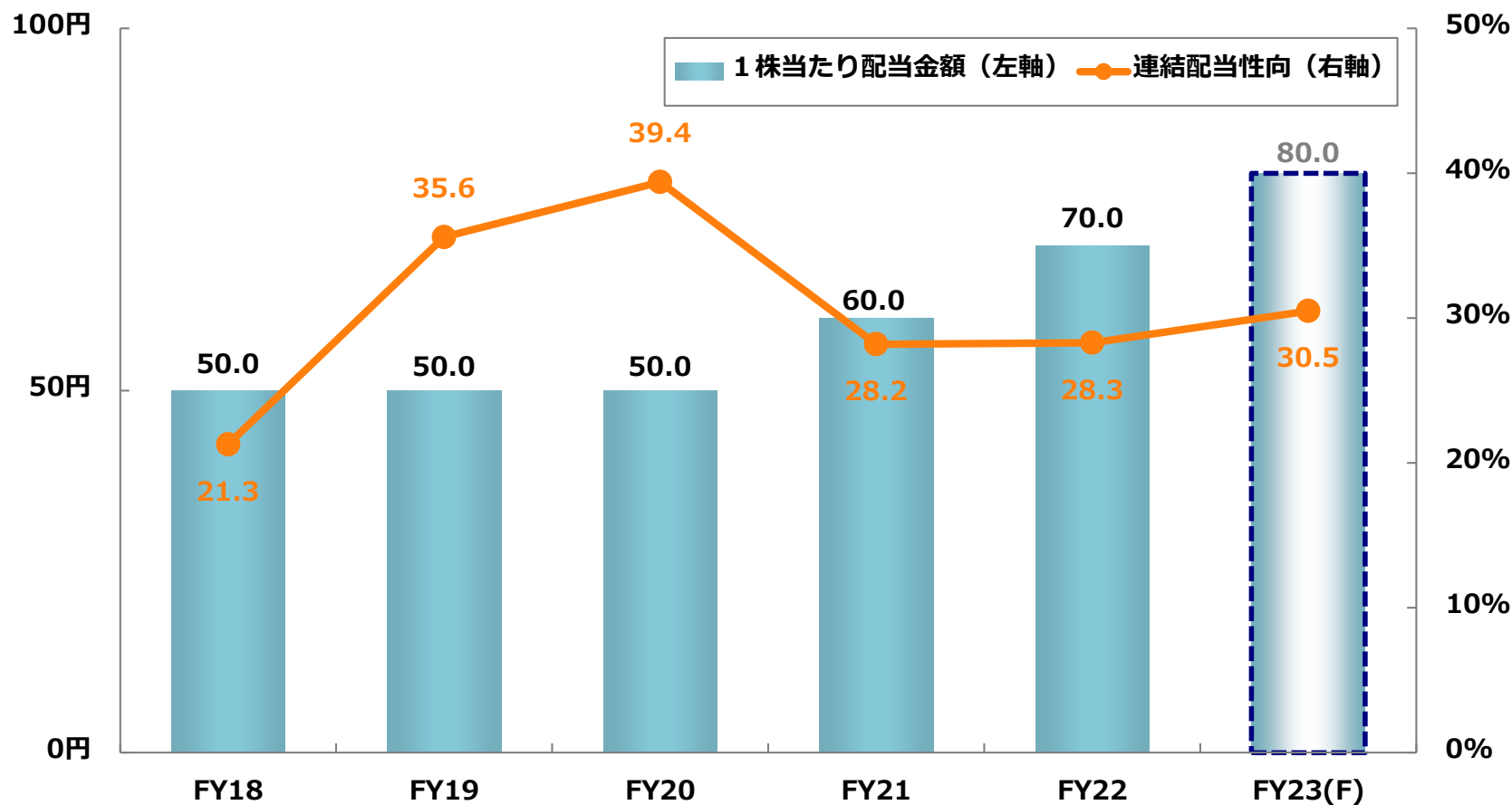
✓ 実施時期の見直し等でFY22の設備投資は計画を大幅に下回る着地も、FY23は2倍超の計画で、キャパシティ引き上げに注力

(単位：百万円)

(単位：百万円)



✓ FY22およびFY23（予想）はともに10円増配



TOYO TANSO



Inspiration for Innovation

(注) 本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、開示時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでいますので、実際の業績は、業況の変化などにより異なる場合があります。

〈お問合せ先〉

東洋炭素株式会社 広報・IR担当

TEL : 06-6472-5811(代)

E-mail : ir@toyotanso.co.jp